欧州ワイン用ぶどう品種を北海道で育てる
～シャルドネ、ピノグリ、ソービニオンブラン、リースリング、ガメイ～

概　要 Abstract

・欧州種ワイン用ぶどう5品種の生育や果実品質の特性を明らかにしました。
・糖度酸度と気象条件の関係を品種ごとに整理しました。

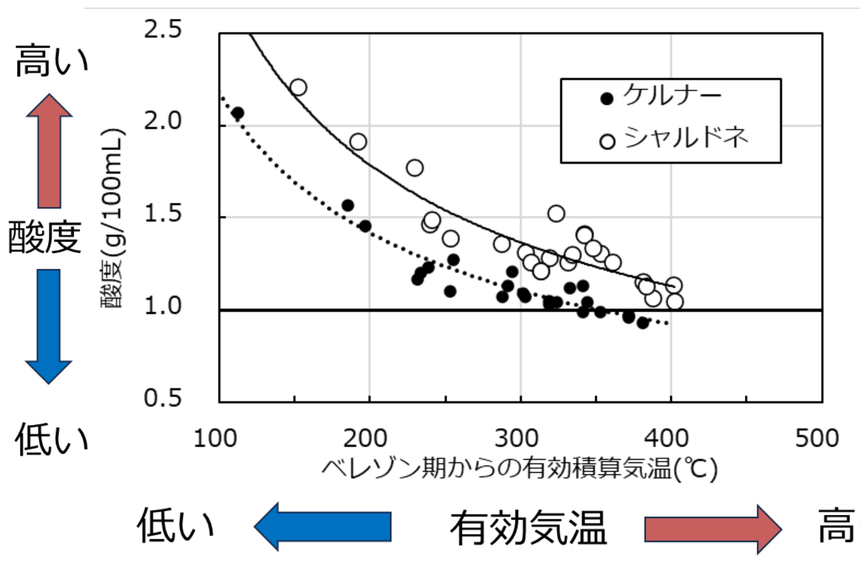
成　果 Results

①下表の5品種は、北海道の欧州種ワイン用ぶどう主産地で栽培可能です。

用途	品種名	耐寒性	収穫期	糖度	酸度
白ワイン	ケルナー（対照）	(並)	10月5日	(並)	(並)
	ピノグリ	並	3日遅	並	並
	ソービニオンブラン	並だが 新梢の登熟はやや劣る	6日遅	やや高い	並
	シャルドネ	並	15日遅	並	やや高い
	リースリング	並	18日遅	やや低い	高い
赤ワイン	ツバイゲルト（対照）	(並)	9月30日	(並)	(並)
	ガメイ	並	1日遅い	やや低い	やや高い

＊中央農試(長沼)・余市町園芸試験場2019-2022年データより作成。
＊収穫期は糖度18Brix%または酸度1g/100mlを目安に、糖度上昇や酸度低下が緩慢になった日とした。

②糖度上昇と「満開期からの積算全天日射量」酸度低下と「ベレゾン期からの有効積算気温」この関係は、品種により異なります。



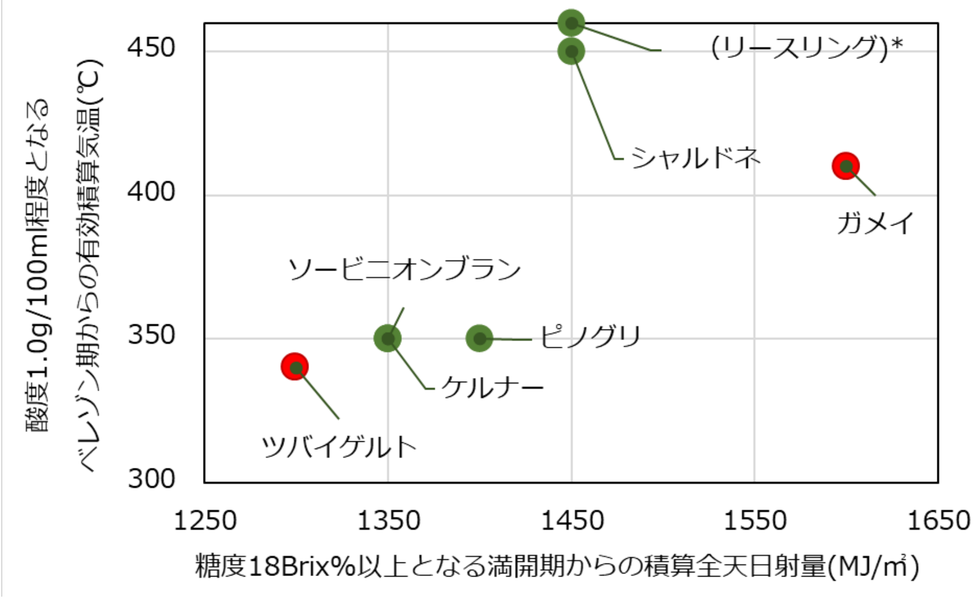
低い ← 有効気温 → 高い

「シャルドネ」「リースリング」「ガメイ」が、「ケルナー」「ツバイゲルト」と同程度の糖度・酸度に達するには、より多くの気温・日射量が必要です。

③「糖度18Brix%以上、酸度1.0g/100ml程度」に到達する時期を予測しました[1)]。

品種名	北斗		余市		岩見沢		富良野	
	糖度	酸度	糖度	酸度	糖度	酸度	糖度	酸度
ケルナー(対照)	10月上旬	9月下旬	9月下旬	10月上旬	9月下旬	10月上旬	9月下旬	–[2)]
ピノグリ	10月上旬	9月下旬	9月下旬	10月上旬	10月上旬	10月上旬	10月上旬	–
ソービニオンブラン								
シャルドネ	10月中旬	10月下旬	10月上旬	△[2)]		△		
リースリング[3)]		–		–	10月中旬	–	10月中旬	–
ツバイゲルト(対照)	9月下旬	9月中旬	9月下旬	9月下旬	9月下旬	9月下旬	9月下旬	10月上旬
ガメイ	10月下旬	9月下旬	10月中旬	10月中旬	–	10月中旬	–	–

1）糖度は「7月1日からの積算全天日射量」、酸度は「8月20日からの有効積算気温」から予測。品種によりベレゾン期や満開期と暦日との差を補正。気温はアメダス平均気温（2019-2022年平均値）、日射量は新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）「日射量データベース閲覧システム」より作成（2010-2018年の平均年データ）。2）記号は－:到達可能性が低い（10月下旬以降。ただし、10月下旬まで登熟可能な北斗を除く）。△:本試験でアメダス周辺圃場での到達事例があり、年次により到達可能性がある。3)「リースリング」は酸度1.2g/100ml未満の事例がなく酸度1.0g/100mlの達成可能性が低い。



(中央農試2019-2021年,2023年,余市町園芸試験場2019-2022年)
*「リースリング」は酸度1.0g/100ml程度の事例がないためグラフ上端に記載。

用語解説：**全天日射量**：地表面が受け取るすべての太陽光の量。単位はMJ/㎡。
ベレゾン期：果粒の肥大・成熟の進行に伴い硬かった果粒がやわらかくなる時期。「果粒軟化期」「水回り期」とも言う。

普　及 Dissemination

①道内の醸造用ぶどう栽培で新規に導入する品種選択の参考資料として活用できます。
②本成果内容は、園地や年次による変動があり栽培条件・収量水準等にも影響されます。
③空知中南部・後志北部・石狩・上川南部地域での結果を元に作成しています。

連絡先 Contact

中央農業試験場
作物開発部 作物グループ
０１２３－８９－２００１
central-agri@hro.or.jp